

進路通信 No. 8



秦野支援学校
サポート・スタディグループ
進路係
2026. 3. 12

<保護者進路見学会>

3月2日(月)～3月6日(金)までの5日間、保護者対象の進路見学会が行われました。秦野市内はじめ近隣自治体の事業所と職業訓練校も含め計10か所の見学を行い、述べ41名の参加がありました。

卒業生をはじめ大人の方々が、働いたり、日中の時間を過ごされたりしている様子をご覧いただくことができました。見学先の就労継続B型の事業所の担当者から「24年度に8名の利用者が企業就労できました。」との説明がありました。また特例子会社の採用担当の方より「実習生や採用直後の社員に完璧は求めていない。」「あいさつできること」「会社や社会のルールを守ることができること。」「誤りを認め謝れる素直な態度が大事」「高等部卒業に無理に就職しなくても、じっくり力をつけてからで大丈夫」と助言をいただきました。学校生活を送りながら、作業スキルの向上のみならず、社会のルールの学習や、意欲や態度をみにつけていくことも大切と考えます。

保護者の皆さまには高等部卒業後のイメージをもつことができたかと考えます。来年度以降も見学会を予定していますので、ぜひご参加ください。



「レインツリー伊勢原」で行われている、里芋のひげ根切りと仕分の作業、およびクラフト作品



アンケートより ～一部省略～

就労継続支援B型事業所

- ・個別の対応、きめ細やかな対応をしてもらえるとところ(仕事内容、給食など)今後も色々な仕事、活動が増えていきそうなど。作業中かぶる帽子は脱いだ後、跡がつかないような物を使用しているというお話を聞き、一人一人を大切にしてもらえる場所だと感じた。
- ・誰でも自分のペースで働くことができるようにという、代表の方の想いが感じられる温かみのある所でした。給食を提供されているというのも家庭的な雰囲気です。素敵だな、と思いました。皆さん静かに作業に取り組まれていたので、そういう環境が好まれる方にはとても良い所だな、と感じました。

特例子会社

- ・給与、労働環境、福利厚生、教育体制などの雇用条件、また実際に働いている方々の様子も非常に良かったです。

グループホーム

- ・医療的ケアがあっても、グループホームに入所出来るのはとても素晴らしいと思いました。ちょっと静かで逆に寂しいのではないかと思います。また、自分から想いを伝えられない我が子は、自分らしく生きていくには、どの様にホームの方に伝えて生活できるのかと考えました。少しずつイメージしながら、入所も視野に入れて、今後を考えて行きたいと思いました。